

駅のような集まりの場を創る

新庁舎とふれあいセンター、周辺の市有地を一体として計画し、市民が集まる駅のような場を創り出すことを提案します。

新庁舎は敷地の南側に配置し、ふれあいセンターと共に現況のスクエア広場を囲むようにします。ふれあいセンターを改修し、新庁舎と共に内外が連続する空間を計画します。山野線跡上にある現況の駐車場をリニアな公園として整備して、南側の鉄道公園からふれあいセンターを超えた北側の市有地まで連続した空間とします。新庁舎とふれあいセンターを中心として地域全体が市民の場となるよう再編する提案です。

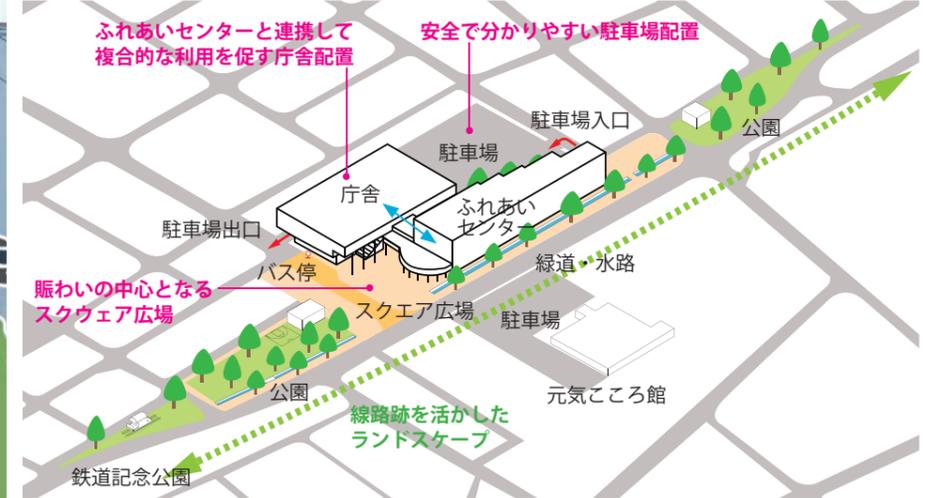


みんなが立ち寄りやすい庁舎 (基本方針 1)

分散していた駐車場を建物近傍にまとめることで、各施設へ円滑にアクセスできる計画とします。駐車場への出入口を南北に計画し、主要な通りからの車両アプローチとすることで、分かりやすく歩車分離が徹底された安全な交通計画とします。ひとまとまりの駐車場は、大規模なイベントや被災時の救援活動スペースとして柔軟に利用できる計画です。

バス停は庁舎南側、思いやり駐車場を庁舎北側のピロティ空間に配置することで、雨天時にも雨がかりなく各施設へアプローチできるバリアフリーに配慮した交通計画とします。

公園はスクエア広場の南側と敷地の北側の 2ヶ所に配置し、現況の鉄道記念公園と連続したひと繋りのリニアなオープンスペースをつくります。鉄道の歴史を未来に継承します。



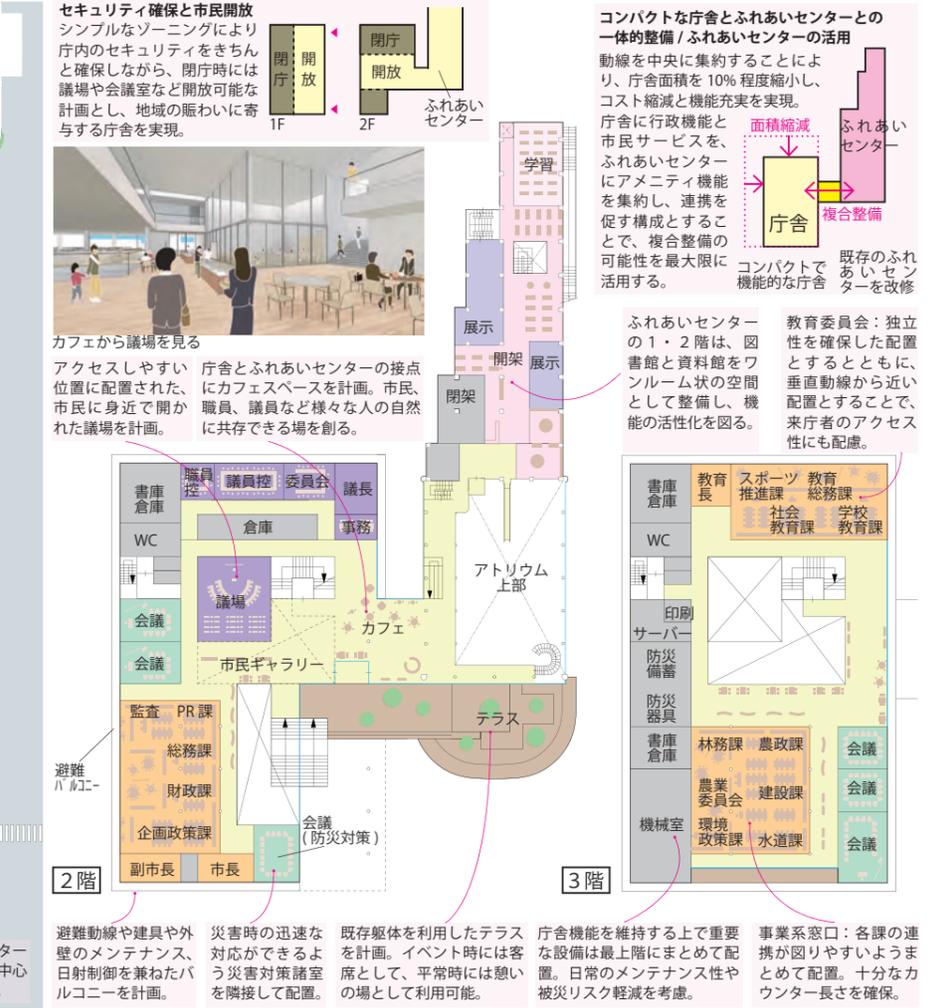
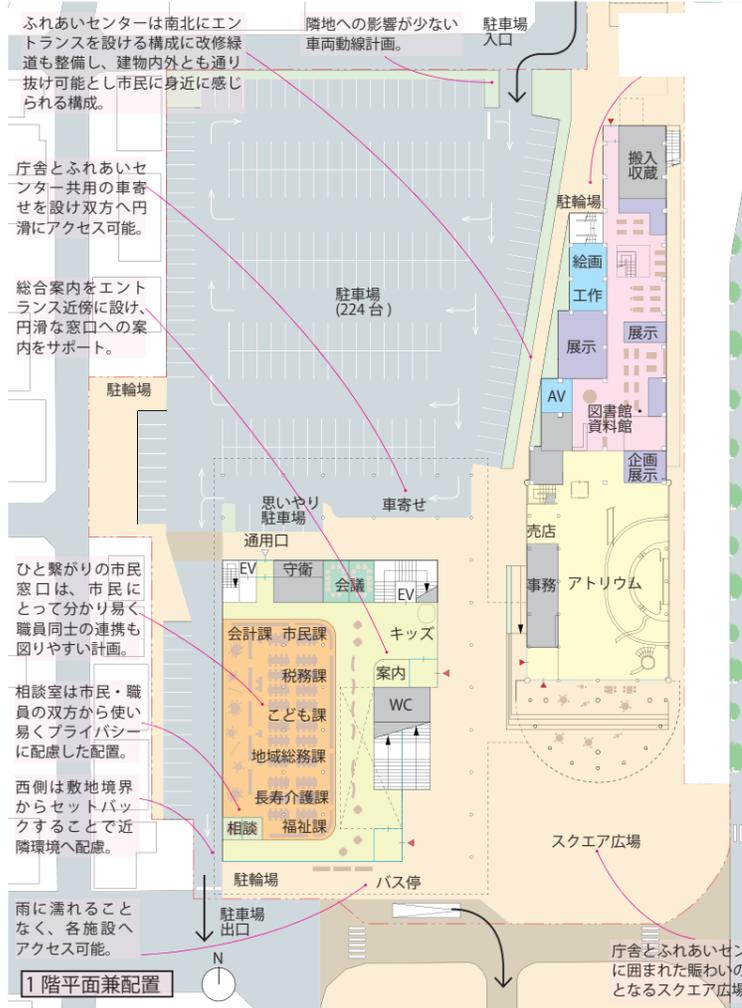
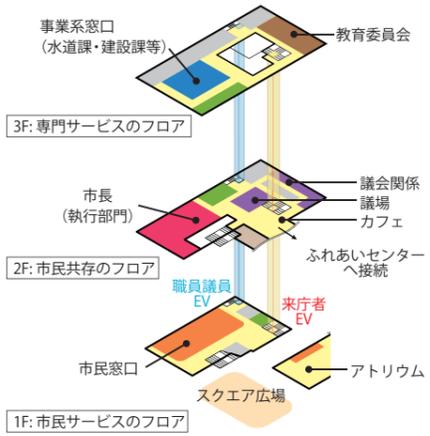
サービス向上と行政経営 (基本方針 2)

新庁舎は 3 階建てとして計画します。2 階に大きな室となる議場を配置し、その周りの吹抜空間を介して各階が連続する空間構成です。各階の構成は以下の通りです。

1 階：市民サービスのフロア 市民課などを中心とした最も市民のアクセスが多い部署を配置し、ワンストップサービスによる円滑な市民サービスを提供します。

2 階：市民共有のフロア 市政の象徴である議場は透明性の高い開放的な設えとします。市民ギャラリー、カフェ、市長を中心とした総務課などの執行部門、議会関係諸室を全て 2 階に配置し、市民が共存する場を創ります。

3 階：専門サービスのフロア 水道課・建設課等の事業系窓口や教育委員会などの専門性の高い部門を配置します。



市民窓口は各エントランスからの円滑なアプローチとわかりやすいサイン計画などユニバーサルデザインへの配慮を徹底

1 階平面兼配置

2階 3階